URL https://school.gifu-net.ed.jp/wordpress/gifu-hs/　E-mail c27301@pref.gifu.lg.jp　※保護者のページもご覧ください。

高 岐高だより

第145号

令和３年12月17日
岐阜県立岐阜高等学校
PTA会長　加藤　大武
印　刷／ヨツハシ㈱
題　字／筑間　敏博

▲岐高祭（応援団演舞・で愛ドーム）

▲岐高祭（チアリーダー）

▲岐高祭（3年次生　演劇）

CONTENTS

- 常に向上心をもって！　進路指導部 …… p1
- 「Webによるジョイントセミナーat東大」を振り返って　進路指導部 …… p2
- 新年度のコース選択・科目選択に向けて　教務部 …… p2
- 充実した高校生活を送るために　生徒指導部 …… p3
- 令和３年度　PSセミナー　渉外部 …… p3
- 「第70回全国高等学校PTA連合会大会島根大会」に参加して　PTA副会長 …… p4
- 1・2年次PTフォーラムについて　1･2年次委員長 …… p4
- King先生（ALT）あいさつ　英語科 …… p4
- コロナ禍、最高の思い出　前期生徒会長 …… p5
- 何事も感謝から　前期文化委員長 …… p5
- 応援団演舞をつなぐ　前期体育委員長 …… p5
- 後期生徒会発足　後期生徒会長 …… p5
- グローバルリーダー養成事業　進路指導部 …… p6
- 修学旅行　２年次 …… p6
- 部活動の主な成績・活動状況　特別活動部 …… p7
- 遠足　１・２年次 …… p8
- 芸術鑑賞会　文化副委員長 …… p8
- PDA東海公立高校即興型英語ディベート交流大会2021にて優勝　特別活動部 …… p8
- 写真部　全国高校総文祭出場　特別活動部 …… p8

常に向上心をもって！

進路指導部

令和３年は「新しい生活様式」が続く中、８・９月は新型コロナウイルス感染症が急速に拡大したため、夏休み明けの授業はオンラインとなりました。継続して学習することが困難だと感じた人や、学校行事や部活動の大会が中止または延期となり、悔しい思いをした人もいたでしょう。今年もあと残り１か月となりました。冬休みは短期間ですが、今までの高校生活を振り返り、「来年への期待」を念頭に置いて新年を迎えてください。

１年次生は、残念ながら林間学舎活動を経験することができませんでしたが、岐高での生活にも慣れ、仲間とともに切磋琢磨してきたことと思います。今年を振り返り、学習面や部活動でできなかったことをどうすればできるようになるかを自分なりに考えて実行に移してください。

２年次生は、この時期から半年が大変重要な時期です。１月からは、いわゆる「３年０（ゼロ）学期」と呼ばれ、本格的な受験生となる準備期間です。今の学力を徹底的に分析し、苦手教科・分野にどのように立ち向かうのかを含めた受験までの計画を立てて実行してください。

３年次生は、いよいよ入試本番を迎えます。共通テストを皮切りに、私立大、国公立大の前・中・後期と矢継ぎ早に行われていきます。体力とともに精神力も要求されますが、受験までの残りの日々を全力で取り組んでください。常に向上心をもち、突き進めば、夢は現実となります。みなさんの健闘を祈っています。

2022年　大学入学共通テスト　時間割

期日	教科・出題教科		解答時間・配点・時間割
第１日 2022年1月15日（土）	地理 歴史	「世界史A」「世界史B」「日本史A」「日本史B」「地理A」「地理B」	◎２科目選択／120分／200点 ◎１科目選択／60分／100点
	公民	「現代社会」「倫理」「政治・経済」「倫理、政治・経済」	
	国語	「国語」	◎80分／200点
	外国語	「英語」「ドイツ語」「フランス語」「中国語」「韓国語」	【リーディング】◎１科目選択／80分／100点 【リスニング】◎英語のみ／30分／100点
第２日 2022年1月16日（日）	理科①	「物理基礎」「化学基礎」「生物基礎」「地学基礎」	◎２科目選択／60分／100点
	数学①	「数学Ⅰ」「数学Ⅰ・数学A」	◎１科目選択／70分／100点
	数学②	「数学Ⅱ」「数学Ⅱ・数学B」「簿記・会計」「情報関係基礎」	◎１科目選択／60分／100点
	理科②	「物理」「化学」「生物」「地学」	◎２科目選択／120分／200点 ◎１科目選択／60分／100点

2022年　国公立大入試日程

大学入学共通テスト出願　2021年10月
→ 大学入学共通テスト*　2022年1月15日～16日（追（再）試験（1月29・30日））
→ 個別（2次）試験出願　1月24日～2月4日
→ 前期日程試験　2月25日から
→ 合格発表3月6～10日（公立大は3月1日～）
→ 合格 → 入学手続　3月15日まで　前期日程入学手続完了者は後期日程、公立大中期日程を受験しても合格者とはならない。
→ 不合格 → 後期日程試験　3月12日以降 → 合格発表　3月20～23日 → 入学手続　3月26日まで（公立は～27日） → 追加合格決定・2次募集開始（3月28日から）
→ 公立大中期日程試験　3月8日以降 → 合格発表　3月20～23日

→は併願の流れを示す。

※前期日程と後期日程は、それぞれ別に募集人員が設定され、試験から入学手続きまで別々に実施される。これを「分離分割方式」という。両日日程の合格発表を見届けてから入学先を選ぶことはできない。

＊追（再）試は1/29・1/30となる。詳細は大学入試センターのホームページ（www.dnc.ac.jp）をご覧下さい。
また個別試験の追試については各大学のホームページでご確認下さい。

令和3年度

「Webによるジョイントセミナーat東大」を振り返って

今年で14回目を迎えることとなった「ジョイントセミナーat東大」ですが、今年度も昨年度同様に新型コロナウイルス感染症の影響により、本校を会場として、オンライン形式かつ1日の日程で実施しました。

まず、総務省・小川氏より、小川氏自身の高校時代から官僚として今に至るまでの様々な経験についてお話を伺いました。次の神山先生・神原先生のご講義では、最新の研究を紹介していただき、大学の学びの一端に触れることができました。最後の「東大生と語る会」では、勉強の仕方や実際の大学生活についてお話を伺い、東大生を身近に感じることができました。

終日のオンラインプログラムでしたが、生徒は最後まで熱心に話に耳を傾けていました。御多忙中のところ都合をつけ、岐阜高校の後輩たちにメッセージを伝えようとしてくださった講師の方々の熱い思いを受け取ることができたのではないかと思います。

生徒の感想

東大（東京）は、地方からいろいろな人たちが集まってくるところで、政治や学問の中心だと知りました。自分は、将来なりたいものがあります。今コツコツ勉強して、小川さんの言葉にあった「自分の身の丈の少し上」を意識してレベルアップできるようにします。

法律のパラドックスの話が印象的でした。今ある不平等を無くそうとして法律を変えると、また別の不平等が出てきてしまう。絶対的な正解が無いため、様々な立場の人が「何が一番良いのか」を話し合い続けることが大切なのだと分かりました。私も、より良い法づくりのため「地方出身者」「女性」などといった立場で声を上げていきたいです。

大学の研究が本当に専門特化していることに驚きました。プラズマという名前はよく耳にしますが、実際どんな物なのか今回の講義で初めて知り、プラズマは僕たちの身近なものにたくさん使われていると気づきました。また、色々な考えや視点に触れることがイノベーションを起こすのだという言葉が印象に残っています。

新年度のコース選択・科目選択に向けて

教務部

本校では将来の進路、適性、希望により、2年次から文系、理系いずれかのコースを選び、学習するように教育課程が編成されています。

新年度のコース選択・科目選択に向けて、年次集会での説明や総合的な探究の時間における進路学習を行ってきました。十一月には仮登録を行い、保護者懇談会を経て、十二月二十四日（金）に本登録を行います。

特に新2年次生は、今後の進路を考えるうえで大きな選択になりますので、しっかり考えて選択してください。

新2年次生

■コース選択

文系コースでは、文学部や法学部、経済学部などの文系学部への進学を目指して学習します。国語や社会の授業時間が多いコースです。

理系コースでは、理学部や工学部、医学部などの理系学部への進学を目指して学習します。数学や理科の授業時間が多いコースです。

■地理・歴史の選択

文系コースでは、世界史Bを必修科目とし、日本史Bと地理Bから二科目を選択して履修します。

理系コースでは、世界史B、日本史B、地理Bから一科目を選択して履修します。

■理科の選択

文系コースでは化学基礎と生物を必修科目として履修します。

理系コースでは、化学を必修科目とし、物理と生物から二科目を選択して履修します。

■コース・科目選択の注意点

コースや科目は、3年次への進級時に変更できません。進路希望を踏まえて慎重に選ぶようにしてください。

■その他の選択

放課後等には、個別のより高度な学習ニーズに対応した自由選択科目を設置し、開講します。詳細については、後日学校より説明します。

新3年次生

■地理・歴史の選択

文系コースでは、世界史Bと2年次で選択している科目を継続して履修します。

理系コースでは、2年次で履修している科目を継続して履修します。それに加えて、世界史Bの履修者は日本史Aと地理Aから一科目を選択して履修し、日本史Bまたは地理Bの履修者は、世界史Aを履修します。

■理科の選択

文系コースでは、生物を継続して履修し、それに加えて、化学基礎と物理基礎から二科目を選択して履修します。

理系コースでは、化学と2年次で選択している科目を継続して履修します。

■その他の選択

個別のより高度な学習ニーズに対応した学校設定科目「特論」を開講し、幅広い教科の中から二科目選択して学習します。

充実した高校生活を送るために

生徒指導部より

〈保護者の皆様へ〉

生徒指導部では、お子様が安心して充実した高校生活を送るため、保護者の皆様と連携して指導に当たっていきたいと考えております。これから冬本番を迎えますが、以下のことについてご家庭でのご指導・ご助言をお願いいたします。

❶交通事故防止・交通規則の遵守

今年度10月31日現在、17件の交通事故が発生しています。（1年次生6名・2年次生3名・3年次生8名）昨年度と比べ、本人の不注意による事故、加害者側となる事故が増加しています。学校でも交通安全意識を向上させるべく努力しておりますが、ご家庭でも日常的に交通安全・交通規則の遵守についてご指導ください。

- 交差点や丁字路など一時停止をし、安全確認を十分に行う。
- スピードの出し過ぎに注意。
- 並走・右側通行をしない。
- 帰りは薄暗くなったら早めに点灯。
- 冬期は、道路の凍結など危険度が高まるため、10分早く家を出るなど、時間に余裕をもって行動する。

❷心の健康を保つ

お子様の様子がいつもと違い悩みを抱えているようであれば、話をよく聞いていただき、必要であれば学校に相談してください。冬季休業中や休日は、下に掲載した電話相談窓口を利用してください。

❸新型コロナウイルス感染防止

感染しない・させないために、厚生労働省や県、学校からの通知に注意し、十分な感染防止対策を行ってください。なお年末の大掃除や年越し・年始の行事などは、家族・社会の一員としての自覚を育む機会でもあります。新型コロナウイルス感染症防止対策を行い、感染リスクの高い行動を避け、お子様が安全に活動できるようご配慮ください。

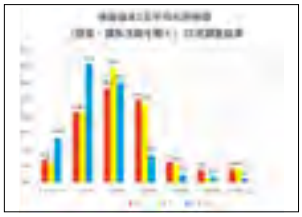
❹情報端末の使用・情報モラルについて

タブレットやスマートフォンを全ての生徒が学習やその他の活動で使用している現在、情報モラルの意識を高めること、情報端末の使用時間を適切に管理する能力が一層必要になってきています。自他の個人情報や、他人の誹謗中傷などをインターネット上に載せないことについて、繰り返しお子様に伝えていただくようお願いします。左のグラフは、10月に調査した情報端末の一日平均使用時間の状況です。3年は昨年に比べ減少傾向にありますが、1年は増加傾向にあり、かなり長時間使用している生徒もいることが分かります。ご家庭でも、お子様の利用状況、使用のルールについて今一度確認し、適切な使用のためにご指導ください。

事故や困った時の連絡先

★**事故・事件等**
最寄りの警察署生活安全課へ
（緊急時には110番）

★**いじめ・悩み・困りごと（学習・進路）などについての相談**
子供SOS24　TEL 0120-0-78310
（夜間・休日・祝日全24時間体制）



令和3年度　PSセミナー

渉外部

PSセミナーも今年で26回目を迎えましたが、今回は昨年より規制を緩め、一つの講義は選択教室にて20名弱の生徒代表を前に対面講義と質疑応答を、残り2つの講義はオンライン講義とチャットで質問をする形式にて行いました。この講義は、生徒の人生観・職業観の育成を図ることを趣旨とし、PTA行事の一環として開催させていただいております。今年もPTA本部役員の一部の方々にはオンラインで受講していただきました。

今年度は「人生を変える言葉選び」「巡り合わせの人生」「PSセミナーによせて」の演題で行われ、どれも生徒の興味を引くものばかりでした。キャリア教育の一環として、本校生徒の人生観・職業観の育成や進路選択の一助になったことと思います。以下に生徒の感想を掲載します。

- 「明日から使える人生を豊かにする言葉」が感謝の言葉であるというお話がとても印象的でした。感謝の言葉を使う時の、なるべく早く、たくさん、名前を呼んで、しつこく、第三者を介して、という5つのポイント一つひとつにしっかりとした理由があり、実践したいと思いました。今回の講演は、公認会計士になりたい人だけでなく、全ての人に共通して為になるお話でした。
- 公認会計士という仕事は、ただ単に計算とか監視をするだけで閉鎖的なイメージがあったのですが、様々な会社に出会えたり、海外に行ったりすることで、異文化交流ができることを知って印象がとても変わりました。
- 時間に関して、「いつ死ぬか分からない」という言葉にドキッとしました。明日死ぬかもしれない、だから今持っている残りの時間を浪費ではなく投資、後悔のない生活を送っていけたらいいと思います。「出会いを大切にする」ということや、「真剣に考え行動する」ということを実践していきたいです。
- 岐阜高校に入学し、たくさんの様々な才能を持った人に出会いました。将来どのように関わっていくのか予想できないので、巡り合わせを大切にしたいと思いました。
- 特に印象に残ったのは、「なりたい」から「なれた」ではなく、「なれる環境にあった」と考えて、今の自分にできることで支えてもらった人に尽くすと仰っていたこと。
- 自分が挫けそうになった時は、弱い所を認めて助けを求めることが大切だと知った。
- 未来の自分は今の自分の積み重ねだという言葉が印象に残った。今を大切にして、どんな選択をしても無駄になることはないと信じて自ら挑戦していきたいです。

セミナー実施後の生徒のアンケートでは、どの生徒も、自身にとって有益な講義であったという肯定的な評価をしており、成功であったと確信しております。

最後になりましたが、講師の方々には講演依頼を快諾していただき、後輩のために貴重な時間を割いていただき感謝申し上げます。またお骨折りをいただいたPTA本部役員の皆様方、本当にありがとうございました。

「第70回全国高等学校PTA連合会大会 島根大会」に参加して

PTA副会長　萩野　順子

8月25日「ご縁づくり～新たな明日への礎のために～」をテーマに右記大会が島根県松江市よりオンライン配信され、本部役員が参加しました。

記念講演「小泉八雲朗読の調べ」では、俳優の佐野史郎氏とギタリスト山本恭司氏のロックな弾き語りに惹き込まれ、アトラクションでは浜田商業高校郷土芸能部による石見神楽を鑑賞し、その力強さと郷土の伝統文化を尊重し育む高校生の姿に感激しました。

全体会後には様々な分科会が配信されました。コロナ禍で人と人との行き来や対面の会話が困難となった事で、ＩＣＴがいかに有効なツールであるか実証されました。変化が激しくＡＩも導入される未来情報社会を子どもたちが生き抜く為に必要な学びとは何か。

関西国際大学教授の荒瀬克己氏は、「主体的・対話的・深い学び」をあげられました。特に対話は重要で、自己の考えや興味を広げたり変化させる為、対話からヒントを得て興味ある事柄を更に探求し創造する力をつけて欲しいと。「対話の中で自分を認め、周りを認め、自ら動くと世界が変わるかもしれないと感じる程に自己肯定感を高める事が真の自立に繋がる」との言葉は正に「Well-Being」だと強く心に響きました。

子どもたちの成長には、周りの大人の支えは必要です。子どもたちが問題にぶつかった時、知的好奇心が喚起された時、学校や家庭がいつも対話できる環境であるように。この貴重な経験を今後の活動に生かしていきたいと思います。

1年次PTフォーラムについて

1年次委員長　澤田　大輔

去る9月27日に「学校と保護者との共通理解を深め、生徒の健全な発達を図る」ことを目的として、「親子で考える進路選択」をテーマに1年次PTフォーラムが開催されました。

新型コロナウイルス感染拡大防止に係る対応の一環として、「全体会」はオンデマンド配信により校長先生はじめ先生方のお話を伺うこととしたうえで、「学級懇談会」はWeb会議システムを活用し同時双方向でのライブ配信とする〝ハイブリッド方式〟での開催となりました。

学級懇談会においては、音声での参加者への配慮など、司会を務めていただいた先生方にご面倒をおかけする一方で、保護者側も戸惑いを感じながらの参加だったのではないでしょうか。

とはいえ、子どもたちの学校での様子を窺い知る貴重な機会となったことに加え、悩みや課題を保護者同士が共有するなかで、子どもへの接し方などについても示唆に富んだ懇談会になったものと拝察しています。

早くも1年次の4分の3が過ぎようとしています。コロナ禍でPTA活動も思うに任せない状況が続いていますが、残り少ない1年次の期間を子どもたちが有意義に過ごせるよう、今後のPTA活動に対し、保護者の方々のご理解とご協力をお願いしたいと存じます。

2年次PTフォーラムについて

2年次委員長　金森　隆

新型コロナウイルスの影響による緊急事態宣言下、本来であれば開催が難しいところであったが、ウェブ配信によりPTフォーラムを開催することができた。特にオンデマンドでの配信は、本来忙しくて参加できない御父兄の方にも、都合の良い時間帯に参加していただくことができ、本当に良かったと思う。

今回は「ベストな進路選択のために」をテーマに、駿台予備学校の繁浪昭博氏にご講演いただいた。一昨年は翌年に共通テストへの移行を控えていたため、現役入学志向が高かったこと、また昨年は新型コロナの影響で受験校数を絞る傾向があったことなど貴重な入試動向を聞くことができた。

印象的だったのは、難関大学の受験対策でも、基礎・基本学習の大切さを繰り返し述べられていたことだった。大リーグで数々の偉業を成し遂げたイチロー選手が「特別なことをするために特別なことをするではない。特別なことをするために普段通りの当たり前のことをする。」と語っていたことを思い出した。正に基礎・基本の積み重ねが偉業に繋がったと言えるだろう。一見複雑に見える入試の難問も、いくつかの基礎要素に分解し確実に解決する能力を試していると言う。難問が解けるようになるために難しい問題に手を出しがちだが、入試までまだ時間のあるこの時期から基礎・基本を大切にした学習を繰り返し積み上げていくことが成功への近道のようだ。

Hello Gifu Senior High School,

My name is Vincent King and I am incredibly excited to teach as an ALT. I come from South Carolina, a beautiful state in the southeastern United States. I studied at the University of South Carolina and graduated with a degree in Economics and English. Since then, I have accumulated roughly seven years of teaching experience. I was the swimming coach for my senior high school. I moved to China and taught communication English at Hubei University of Medicine. I joined the United States Peace Corps (a program similar to JICA in Japan) and taught Junior High School in Zambia, and I also ran teacher training programs and agriculture workshops. Recently, I wrote the English language curriculum and textbooks for a private elementary school in Taiwan, while acting as a homeroom teacher.

I am incredibly excited to meet and communicate with the students at Gifu Senior High School. It is my hope that they can use English to broaden their minds and their dreams. I firmly believe the English language is a ticket to many opportunities abroad, and I wish to teach English communication and relay all of the international opportunities open to Japanese students. In the meantime, I am eager to explore Gifu prefecture. I love to hike, swim, and go on very long bike rides. I want to learn more about Japanese culture, history, and food, and Gifu City is the perfect place to do this.

Thank you so much, I look forward to meeting you!

コロナ禍、最高の思い出

前期生徒会長　鷲見　幸太朗

2年ぶりとなる岐高祭が無事に終わりました。今年はコロナ対策により例年と異なる形での開催となりましたが、同時に新しい岐高祭を実現した年にもなりました。

今年は体育大会が中止となり、劇はマスク必須など制約が多い中での開催でした。しかし、できるだけ例年通りの作品ができるよう各団体で案を出し合い、工夫を凝らし、日常を超えた範囲で協力しあう姿が印象的でした。そして岐高祭当日も仲間と気持ちを共有しながら、最大限に楽しむことができました。学校からで愛ドームへはみ出したのに加え、このような面でもスローガン「はみだせ岐高生」を体現できていたのではないかと思います。

最後に、この状況下でも充実した岐高祭を開催できたことは、先生方や生徒一人ひとりのご協力のおかげです。岐高祭に携わった全ての方々に感謝申し上げます。ありがとうございました。

何事も感謝から

前期文化委員長　稗田　優菜

今年の岐高祭は例年とはかなり違う形での開催となりました。しかしそんな中でも例年と変わらない活気溢れる全校の皆さんの姿を見ることができました。そして各クラスの素晴らしい作品からは皆さんの努力や思いが強く感じられました。

岐高祭は例年にも劣らない成功で幕を閉じましたが、その裏にある苦労もまた例年以上のものでした。しかしすべての方がその困難を乗り越えて最高の岐高祭を作り上げてくださいました。感謝してもしきれません。

生徒会執行部の皆さん、文化委員会の皆さん、先生方、その他お力添えいただいた関係者の皆様、そして全校の皆さん。このうちのどの方が欠けても岐高祭は成功しませんでした。本当にありがとうございました。

応援団演舞をつなぐ

前期体育委員長　堀　颯汰

今年度の体育大会は一昨年同様の開催は叶わなかったものの、多くの方々のご尽力によって、2年ぶりに応援団演舞を実施することができました。

今年度は例年に比べて、団員の人数が全団多かったのですが、人数の多さを感じさせない、一糸乱れぬ最高の演舞を各団行っていました。演舞当日を迎えるまでには、緊急事態宣言に伴う延期、夏休みや放課後の連日の練習など、先の見えない険しい道のりであったと思います。ただ、応援団の演舞を唯一知る3年次生の、演舞を途絶えさせないという強い想いが様々な方を動かし、演舞の実施に至ったのだと思います。私自身は観客席から、団員全員が全力で演舞をし、達成感を味わっている姿を見て、実施できて本当によかったと心から感じました。

3年次生にとっては、最後の岐高祭となりました。コロナと戦いながら、完全ではないものの、このように実施することができたのは、先生方や生徒会など様々な方の尽力があったからです。

思い出を残し、演舞を後輩達へつなぐ岐高祭に携わった全ての方に、改めて感謝申し上げます。本当にありがとうございました。

後期生徒会発足

後期生徒会長　石井　遥尊

日頃より、生徒会活動にご協力いただきありがとうございます。

さて、この度無事に後期生徒会執行部が発足しました。メンバーも変わり、心機一転頑張っていきたいと思います。後期は岐高祭ほど大きな行事はないため、生徒の声を反映させる活動に多くの時間を充てることができます。もし何か生徒会に要望がありましたら、提言シートに記入しボックスに投函してください。また、各年次棟玄関に掲示してあるホワイトボードで定期的に情報の発信をしていく予定です。執行部一丸となって全校生徒のために活動していきたいと思います。後期生徒会執行部にご協力をお願いします。

グローバルリーダー養成事業

職業・学問体験プログラム

地域医療系　5月21日(金)

●講師…杉山保幸氏(岐阜市民病院医師)

地域医療の現状について説明していただいた後に、医師、薬剤師、看護師の職種に分かれて座談会を持った。

工学系　7月13日(火)

●講師…細野哲弘氏
(独立行政法人　石油天然ガス・金属鉱物資源機構理事長)
他二名

講義に続いて金属棒の重さ、硬さ、色、磁性、電気伝導度などを調べたり、金属種を同定したりする実習を行った。

生物系　10月20日(水)

●講師…西村剛氏
(京都大学霊長類研究所)

ワニにヘリウムガスを吸わせて「声」と「音」の違いを明らかにし、イグノーベル賞を受賞した講師の話をお聞きした。

文化系　10月26日(火)

●講師…野中健一氏
(立教大学文学部教授)

世界の昆虫食文化についての講義の後に、岐阜県の伝統料理「へぼ飯」やイナゴの佃煮、アフリカの乾燥イモムシ「モパニワーム」を試食した。

芸術系　10月28日(木)、29日(金)

●講師…磯村一路氏(映画監督)

28日には代表作「がんばっていきまっしょい」を鑑賞し、29日に監督の話を伺った。自分の感性を信じてブレないことの大切さを教えていただいた。

最先端科学体験プログラム

工学系　7月19日(月)

●講師…大村健人氏
(東亞合成R&D総合センター製品研究所)

接着剤の種類や接着の仕組みについて学んだ後に、ゴムや木片を接着してくっつき方の違いなどの実習を行った。

国際交流体験プログラム

国際系　10月15日(金)

●講師…上野由香氏
(岐阜県庁清流の国推進部外国人活躍・共生社会推進課)
我妻ドウグラス武氏
(公益財団法人岐阜県国際交流センター)

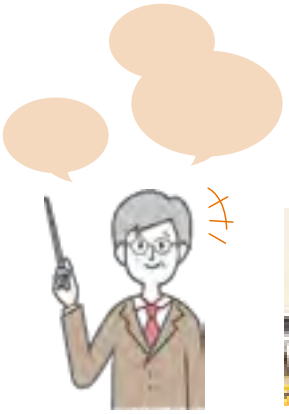
岐阜県の多文化共生推進の取り組みや、在住外国人相談センターでの仕事内容について、お話しいただいた。

基調講演会　11月9日(火)

●講師…杉山武史氏
(三菱電機株式会社シニアアドバイザー)

「『気候変動と経済』－今から始めること」と題して講演会を行った。

日本経済の変化を戦後から現在まで10年ごとのスパンで振り返りながら、その時々の現象の奥にあるものを示していただくとともに、現在、人類が直面している地球温暖化の現象や、ポスト・コロナの日本社会に必要なイノベーションについてなど、多岐にわたる話題を取り上げ、解決に至る道筋についてお話しいただいた。



修学旅行

新型コロナウイルス感染症への対応のため、日程を二泊三日に短縮、貸切バスで移動できる行き先へ変更しました。

2年4組　井深　大樹・向井　健人

コロナ禍で延期され、本当に実施されるか不安に思っていましたが、高校生活の中で最も楽しみにしていた修学旅行に行くことができました。普段の生活では味わえない様々な経験を通して、多くのものを得ることができました。

金沢市内研修や、黒壁スクエアの散策では、岐阜市街では味わえない雰囲気を肌で感じ、芦原温泉、雄琴温泉、東尋坊では岐阜では見られない風景を見て、楽しく過ごすことができました。五箇山やユニバーサルスタジオジャパンでクラス写真撮影をし、このクラスで過ごす時間が残り三か月と考えると寂しい気持ちにもなりました。

三日間の人生最後の修学旅行で、共に学ぶ仲間と宿泊し、おいしい料理を食べられたという最高の思い出が残せたことを何よりもうれしく思います。

コロナ禍の難しい状況の中、実施するにあたり尽力してくださった先生方や保護者の方々、修学旅行に関わってくださった方々に感謝の気持ちでいっぱいです。

2021年度 部活動の主な成績・活動状況

11月29日現在

体育系

部名	活動・試合結果など
硬式野球	**第103回全国高等学校野球選手権岐阜大会** 一回戦　岐阜　2－1　長良　二回戦　岐阜　13－6　本巣松陽 三回戦　岐阜　8－1　不破　四回戦　岐阜　1－13　大垣日大 ベスト16進出 **第74回秋季県高等学校野球大会　岐阜地区予選** 一回戦　岐阜　12－2　本巣松陽　二回戦　岐阜　6－4　岐阜城北 三回戦　岐阜　9－5　各務原　準決勝　岐阜　2－9　岐阜農林 岐阜地区第3位 **第74回秋季県高等学校野球大会**　二回戦　岐阜　3－4　各務原
陸上競技	**令和3年度県総合体育大会** 男子　船渡(3年)小森(3年)中島(3年)中瀬(3年)大洞(3年)4×100mリレー 2位 中島(3年)200m　5位　大洞(3年)100m　6位 女子　青木(3年)小林(3年)内田(1年)久富(3年)藤村(3年)4×400mリレー 4位 峠　(2年)800m　6位　青木(3年)400mハードル　6位 峠　(2年)1500m　8位 **令和3年度東海総合体育大会** 男子　船渡(3年)小森(3年)中島(3年)中瀬(3年)大洞(3年)4×100mリレー　準決勝進出 大洞(3年)100m　準決勝進出 **令和3年度岐阜県選手権大会** 男子　船渡(3年)小森(3年)中島(3年)中瀬(3年)4×100mリレー 8位 **令和3年度県高校新人大会** 男子　永尾(1年)110mハードル　2位　高木(1年)3000m障害　5位 高納(1年)800m　6位 女子　鎌田(1年)大洞(1年)高橋(1年)内田(1年)4×100mリレー 2位 大洞(1年)200m　4位　渡邊(2年)5000m競歩　4位 鎌田(1年)100m　6位　林　(1年)400m　6位 峠　(2年)1500m　6位　岡田(1年)ハンマー投　6位 峠　(2年)3000m　8位　女子総合得点　7位 **令和3年度東海高校新人大会** 男子　永尾(1年)110mハードル　準決勝進出 **令和3年度県高校駅伝大会** 男子　高木(1年)大場(1年)山内(2年)高納(1年)篭橋(3年)徳川(2年)中尾(2年) 12位 女子　峠(2年)小林(1年)渡邊(2年)林(1年)堀(1年) 8位
サッカー	**G1リーグ2021** 岐阜　4－0　大垣工　岐阜　2－3　長良　岐阜　0－6　中京 岐阜　0－6　岐阜工　岐阜　0－5　FC岐阜U18 **第100回全国高等学校サッカー選手権岐阜県大会** 3回戦　岐阜　1－0　多治見北　4回戦　岐阜　3－2　岐阜第一 準々決勝　岐阜　0－2　中京
バレーボール	**全日本バレーボール選手権大会県代表決定戦** 男子　岐阜　1－2　可児工(1回戦敗退)　女子　岐阜　0－2　加茂(2回戦敗退)
バスケットボール	**令和3年度県高校選手権大会** 男子　2回戦　岐阜　77－79　岐南工 女子　1回戦　岐阜　54－53　中津　2回戦　岐阜　61－55　中京 3回戦　岐阜　19－113　岐阜総合　ベスト16
ソフトテニス	**県高校総体** 男子団体戦　2回戦　岐阜 2－1 大垣商　3回戦　岐阜 2－1 大垣工 4回戦　岐阜 0－2 岐阜高専　ベスト8 女子団体戦　2回戦　岐阜 3－0 多治見北　3回戦　岐阜 1－2 美濃加茂 ベスト16 男子個人戦　永田(3年)・高本(3年)ベスト16で東海総体に出場。林(3年)・長屋(2年)出場。 女子個人戦　佐竹(2年)・安田(3年)出場 **地区新人戦** 男子個人戦　入野(2年)・柘植(2年)ベスト32で県大会出場 女子個人戦　笠原(2年)・早野(2年)、佐竹(2年)・門崎(1年)、春日井(1年)・丸毛(2年) ベスト32、坂井(1年)・伊塚(2年)順位決定戦にて以上4ペア県大会出場
水泳	**県高校総体** 女子50m自由形　8位　服部(3年) 男子50m自由形　3位　岡本(2年) 男子100m自由形　2位　堀　(3年) 男子200m自由形　優勝　堀　(3年) 男子100m平泳ぎ　8位　安藤(1年) 男子200m平泳ぎ　8位　安藤(1年) 男子100mバタフライ　2位　伊藤大(2年) 男子200mバタフライ　2位　伊藤大(2年)　8位　中村(3年) 男子100m背泳ぎ　6位　奥村(2年)　7位　桑原(3年) 女子200m背泳ぎ　8位　伊藤智(3年) 男子200m背泳ぎ　5位　松井(3年)　7位　奥村(2年) 男子200m背泳ぎ個人メドレー　4位　高橋(3年) 男子400mリレー　6位　伊藤(2年)山田(3年)岡本(2年)堀(3年) 男子400mメドレー　5位　奥村(2年)高橋(3年)伊藤(2年)堀(3年) 女子800mリレー　6位　服部(3年)深谷(3年)伊藤(3年)西本(3年) 男子800mリレー　6位　山田(3年)堀(3年)坂本(3年)中村(3年) 以上16名が東海高校総体に出場した
卓球	**新人大会県大会**　男子　2回戦　岐阜 3－0 恵那　3回戦　岐阜 0－3 関商工 女子　2回戦　岐阜 1－3 長良
バドミントン	**新人大会岐阜地区予選** 男子団体　4位　女子団体　2位 男子個人　ダブルス　奥村(2年)・白木(1年) ベスト8 村松(2年)・高木(2年) ベスト16 シングルス　白木(1年) ベスト8 女子個人　ダブルス　寺島(2年)・中島(1年) 4位 後藤(1年)・舘(1年) ベスト16 シングルス　寺島(2年) 2位 **新人大会県大会** 男子団体　出場　女子団体　ベスト8 男子個人　ダブルス　奥村(2年)・白木(1年)　村松(2年)・高木(2年) 出場 シングルス　白木(1年) 出場 女子個人　ダブルス　寺島(2年)・中島(1年)ベスト8　後藤(1年)・舘(1年)出場 シングルス　寺島(2年) ベスト16
柔道	**岐阜地区柔道新人戦予選** 81kg級　3位　都竹(2年)　81kg級　6位　中川(2年)
剣道	**第60回岐阜地区高等学校総合体育大会** 男子　1回戦　岐阜　4－0　合同　2回戦　岐阜　1－3　県岐阜商 女子　予選リーグ　1分1敗　岐阜　2－2　富田　岐阜　0－4　県岐阜商
軟式野球	**第69回岐阜県高等学校総合体育大会・軟式野球競技** 二回戦　岐阜　1－5　岐阜聖徳 **第66回全国高等学校軟式野球選手権岐阜大会** 二回戦　岐阜　0－10　県立岐阜商業 **第70回岐阜県高等学校軟式野球秋季(新人)大会** 一回戦　岐阜　5－3　県立岐阜商業 準決勝　岐阜　2－1　三高連合(吉城・多治見西・多治見工業) 決勝戦　岐阜　0－7　中京 **第36回秋季東海高等学校軟式野球大会** 二回戦　岐阜　1－7　愛工大名電
テニス	**県高校総体** 男子　団体　ベスト16　女子　団体 ベスト8 女子ダブルス　和田(3年)・深尾(2年)　ベスト16 **岐阜地区総体**　男子　団体　準優勝　女子　団体　準優勝 **全日本ジュニア選手権県予選** 男子　U16 シングルス　丹羽(1年)　5位(東海中日ジュニアに出場) 女子　U18 ダブルス　深尾(2年)　ベスト8(ペアは他校の生徒) **県ジュニア選手権** 男子　ダブルス　丹羽(1年)　ベスト8(ペアは他校の生徒) 女子　ダブルス　深尾(2年)　3位(ペアは他校の生徒) **強化合同シングルス** 男子　シングルス　丹羽(1年)　神田(2年)　本戦出場 女子　シングルス　深尾(2年)　立木(2年)　乗原(2年)　倉内(2年)　本戦出場 **新人戦県大会**　男子団体　3位　女子団体　3位 **東海毎日ジュニア県予選** 男子　U18ダブルス　丹羽(1年)　ベスト8(ペアは他校の生徒) 女子　U18ダブルス　深尾(2年)　3位(ペアは他校の生徒)(東海毎日ジュニア出場)
ハンドボール	**令和3年度岐阜地区総合体育大会** 2回戦　岐阜　16－12　富田 準決勝　岐阜　8－32　岐阜東　地区3位・新人戦県大会進出

文化系

部名	活動・試合結果など
美術	**岐阜地区高等学校美術展** 優秀賞　渡邊(1年)　奨励賞　堀(3年) **令和3年度岐阜県高等学校総合文化祭美術・工芸展** 絵画部門入選　渡邊(1年)　デザイン部門入選　堀(3年)
書道	**第30回国際高校生選抜書展《書の甲子園》** 団体の部　【東海地区優秀賞】 個人の部　【入選】　廣瀬(3年)　奥田(3年)　山下(2年)　新井(2年)　武田(2年)　前川(1年) **令和3年度岐阜県高等学校総合文化祭書道展**　最優秀賞　武藤(2年) **第70回大垣市美術展**　奨励賞　関谷(2年) **第31回各務原市高校生美術展** 最優秀賞　新井(2年)　優秀賞　武藤(2年)　奨励賞　山下(2年)　渡邊(1年)　安田百(1年)
演劇	**令和3年度第69回岐阜県高等学校演劇大会岐阜地区大会** 「生と死　Life or Die」(楽静 作)上演・奨励賞 **令和3年度岐阜県高文連総合文化祭演劇部会岐阜地区秋季合同公演** 「合格ラインがやって来た！」(加藤のりや 作)上演
音楽	**第88回(令和3年度)NHK全国学校音楽コンクール** 岐阜県コンクール　金賞 東海北陸ブロックコンクール　出場 **第74回全日本合唱コンクール** 岐阜県コンクール　高等学校部門Aグループ　金賞 中部支部コンクール　高等学校部門Aグループ　銀賞
文芸	・**第45回全国高等学校総合文化祭 紀の国わかやま総文2021** 文芸部門(小説部門・詩部門) 出場 ・学校祭で部誌を発行(県文芸コンクール応募作品を収録) ・現在、卒業式前日に発行予定の部誌を新企画を打ち立て鋭意作成中。
茶華道	(茶道)裏千家の茶道に親しんでいます。文化祭のお茶会に向けてお稽古を積んできましたが、直前に中止が決まり残念でした。代替として和菓子販売を行い、多くの生徒さんや先生方に季節感あふれる和菓子のよさを伝えることができました。
自然科学生物班	・**第45回全国高等学校総合文化祭 紀の国わかやま総文2021** 自然科学部門　出場(アユ班)(7/31) ・バイオサミット　決勝出場(アユ班)(8/23) ・日本魚類学会　発表(9/19) ・高校生両生類サミット(9/20) 「守れ！ふるさとのヤマトサンショウウオ～15年間の活動の記録～」 ・**第30回岐阜県高等学校総合文化祭 自然科学系部活動研究発表交流会** 「環境DNA定量解析を用いたアユ仔魚降下量の推定～長良川におけるアユ仔魚の動態を探る～」特別賞 「守れ！ふるさとのヤマトサンショウウオ～15年間の活動の記録～」特別賞 「ギフチョウの生態調査に関する研究」審査員特別賞 ・**環境DNA学会第4回大会** 「環境DNA定量解析を用いたアユ仔魚降下量の推定～長良川におけるアユ仔魚の動態を探る～」最優秀賞
自然科学物理班	**第30回岐阜県高等学校総合文化祭 自然科学系部活動研究発表交流会** 「磁性流体の特性について」　優秀賞
自然科学化学班	**第45回全国高等学校総合文化祭 紀の国わかやま総文2021** 自然科学部門　出場 **第30回東海地区高等学校化学研究発表交流会** 「水溶液中のアルカリ金属イオンの回収」奨励賞(東海5県で4位) **第30回岐阜県高等学校総合文化祭 自然科学系部活動研究発表交流会** 「高吸水性ポリマーの吸水の仕組みを利用した水溶液の硬度測定」優秀賞(化学部門1位) (来年度の全国高等学校総合文化祭への出場が内定)
ESS	・第6回岐阜県高等学校英語プレゼンテーション大会出場(審査12月予定) ・英語で想いを語る会(岐阜県日米協会主催)参加
調理	季節の料理とスイーツを考え、制作しました。
写真	**第45回全国高等学校総合文化祭 紀の国わかやま総文2021** 写真部門 優秀賞　千種(3年)　出場　藤澤(3年)　深尾(2年) **県青少年美術展** 優秀賞　深尾(2年) 入選　野田(3年)　篠田(3年)　田島(3年)　林田(3年)　三原(2年)　糟(2年)　吉村(1年) 棚橋(1年)　渡邊(1年)　横山(1年)　岸田(1年) **県写真コンテスト写真展** 優秀賞　石井(2年)　齋藤(2年) 奨励賞　三原(2年)　木原(2年)　細川(2年)　安部(2年)　加藤(2年) **県写真選手権大会**　優秀賞　2年生チーム　奨励賞　1年生チーム **県総合文化祭写真展** 優秀賞　横山(2年)　齋藤(2年) 奨励賞　田中(2年)　石井(2年)　安部(2年)　横山(1年)　岸田(1年) **写真甲子園2021**　2回戦敗退　2年チーム **各務原市高校美術展** 最優秀賞　岸田(1年) 奨励賞　渡邊(1年)　吉村(1年) 入選　三原(2年)　石井(2年)　深尾(2年)　横山(2年)　古田(2年)　田中(2年)　木原(2年) 糟(2年)　加藤(2年)　棚橋(1年)　高田(1年) 準入選　細川(2年)　水野(1年)
囲碁・将棋	【将棋】 **第57回全国高等学校将棋選手権大会岐阜県大会** 男子団体　3位　橋(3年)　辻田(3年)　吉田(3年) 男子個人　3位　長柄(2年)　4位　松尾(2年)　ベスト8　坪内(3年) **県新人大会**　男子個人戦　ベスト16　長柄(2年)　松尾(2年)　棚橋(1年) 【囲碁】 **第45回全国高等学校総合文化祭 紀の国わかやま総文2021** 囲碁部門　男子個人戦出場　平林(2年) **県新人大会**　男子個人戦　優勝　平林(2年)　団体戦準優勝　平林(2年)首藤(2年)大野修(2年) **東海大会出場**　男子個人戦　平林(2年)　男子団体戦　平林(2年)首藤(2年)大野修(2年)
吹奏楽	・第64回中部日本吹奏楽コンクール岐阜県大会　金賞 ・第59回岐阜県吹奏楽コンクール　金賞　朝日新聞社賞 ・第76回東海吹奏楽コンクール　銀賞 ・岐阜県高等学校総合文化祭　吹奏楽発表会参加(動画)
クイズ研究	「東大王クイズ甲子園」や「高校生クイズ」に出場した。また、岐阜高校が主催する練習会「第2回薄墨杯」を開催した。
チアリーダー	野球応援や文化祭のダンスパフォーマンスを活動披露の場として取り組んでいます。より美しく踊れるように、オフシーズンも柔軟などの基礎的な体づくりを取り入れて、地道に練習しています。

局

部名	活動・試合結果など
図書	**全国高等学校ビブリオバトル2021岐阜県大会**　準優勝　松井(2年) 1月には店頭選書を行い、3月には図書館報を発行する予定です。
放送	校内の活動として、お昼の放送などを実施しました。
家庭クラブ	6・7月　千手堂病院ボランティアとして、マスクを手作りし、寄贈しました。 全国高校生ホームプロジェクトコンクールに15名の生徒が出展しました。
英語科	**令和3年度学力向上総合推進事業「岐阜県高等学校スピーチコンテスト」県大会** 2位　辻本美月(2年)　出場　岩下璃乃(2年) **第14回全国高等学校英語スピーチコンテスト東海北陸ブロック大会**　出場　辻本美月(2年)
海外研究	・第15回全日本高校模擬国連全国大会　出場 ・PDA即興型英語ディベート東海交流大会開催(オンライン)

世界一周遠足

1年8組　高木　風花

私たち1年次生は愛知県犬山市リトルワールドへ行った。雲一つない快晴。

リトルワールドでは、石造りの家や簡易的なテント、祭りや儀式に使用される道具などがあり、日本では見られない様々な文化に触れることができた。またワニ肉やトルコアイスなど、世界のグルメも楽しむことができた。

世界各国の伝統的な建造物の見学や、民族衣装の体験等を通して、世界の人々の暮らしぶりを知ることができた。

コロナ禍での遠足ではあったが、きっと青春の思い出の一つとなるだろう。

遠足の感想

2年2組　篠田　晴希

私たち2年次生はlittle worldに行きました。遠足にはぴったりの快晴でした。学校とは異なる環境で美味しいものを食べ、遊ぶことが新鮮で楽しかったです。たった4時間の自由行動でしたが、ずっと歩いていたので疲れました。バスの中では寝ようと思いましたが、雰囲気から楽しくバスの中でも遠足を楽しみました。来月には修学旅行を控えているので、高鳴る期待を抑え、規則を守った行動をしていきます。

芸術鑑賞会

文化副委員長　古澤　里奈

あまり馴染みのない落語は、講演を見るまで堅苦しいものだという印象でした。しかし講演を聞いているといつの間にか落語の世界へ引き込まれていきました。演者が声の強弱や口調、視線の送り方に変化をつけることで、子供から老人まで何人もの人を演じていてとても感心しました。

漫談では、聴衆から貰ったお題に対してすぐにネタを考えてしまう頭の回転の速さに驚かされ、また日本語のおもしろさを感じました。

誰でも簡単に情報を発信したり、多くの人と繋がったりできるようになった今では、言葉で人を傷つけてしまうことがあります。けれども、落語を聞いて、言葉はこんなにも人を楽しませることも出来るのだなと感じました。

写真部　全国高校総文祭出場

第45回全国高等学校総合文化祭が和歌山県にて開催され、本校からは、千種遼(3年)、藤澤希美(3年)、深尾優子(2年)の3名3作品が県代表として選出されました。全国大会では、千種遼の作品が優秀賞を受賞し、全国の表彰台に立ちました。閉会式では、深尾優子が写真部門参加校を代表して大会報告(プレゼン発表)の大役を見事に務め、好評をいただきました。

また、今年度はエンジン01文化戦略会議が本県で開催されたことから、写真家として第一線で活躍されているNY在住の橋村奉臣(HASHI)さんと本校部員がオンラインで交流する機会をいただきました。部員の誰もが、橋村さんの写真に対する情熱や想いの強さに圧倒され、創作意欲を掻き立てられるたくさんの刺激を受け、大変有意義で楽しい交流の時間となりました。

コロナ禍で部活動には様々な制約がありますが、今後も部員一丸となってさらなる飛躍を目指します。

PDA東海公立高校 即興型英語ディベート交流大会 2021にて優勝

6月12日(土)に本校にて行われた即興型英語ディベート大会の東海交流大会において、本校Aチームの3名の生徒(森彩南(2年1組)、高橋秀歩(2年7組)、岩下璃乃(2年9組))が優勝しました。グローバルリーダー養成事業の一環として、ディベートの活動は、週に2回放課後に行っています。即興でディベートを行うことで、英語での発信力、論理的思考力、幅広い知識・考え方、プレゼンテーション力、コミュニケーション力などの総合的な力を鍛えることがねらいです。

当日はコロナ禍の状況もあって、対面ではなくオンラインにて開催されましたが、県外からは愛知県立岡崎高校、三重県立四日市高校、静岡県立静岡高校の生徒が参加をしました。

第1ラウンドの論題は「We should outsource coaching of club activities.(部活動の指導を外注すべきである。)」で、第2ラウンドの論題は、「Accepting immigrants does more good than harm.(移民の受け入れは害よりも利益をもたらす。)」でした。論題は、社会、政治、倫理、環境、国際問題など多岐に渡るため、この活動を通して、幅広い知識の習得を促す効果も期待できます。

生徒の感想

- 違う高校の人と交流する機会がなかなか無い中で、このような貴重な体験ができてとても良かったです。
- 私たちは日々ディベートの向上を図って様々な努力をしています。それでも行き詰まってしまうことは多々あって、今回のような機会が、私たちのbreakthroughのきっかけになっているのではないかと思いました。
- 新たな一年生のみんなとも一緒にディベートができてすごく楽しかったし、知らない高校の人たちと競い合える楽しさが分かりました！